

第89回 経営協議会議事録

日 時 令和元年11月29日(金) 14時00分～16時00分

場 所 和歌山大学南1号館(事務局棟) 3階共通会議室

出席者 伊東学長

赤木委員、檜畑委員、柏原委員、帯野委員、岡村委員、垣見委員

永井、恵下、藤本、山本 各理事、吉田事務局長

(田中監事、添田副学長、クパニ副学長、足立副学長、本山教育学部長、
マグレビ経済学部長、宗森システム工学部長、尾久土観光学部長、堀内企
画課長、南方総務課長、大林財務課長、阿部経済学部准教授)

欠席者 多田委員

学長から、第88回(9月27日)の議事録について確認があり、了承した。

議 題

1. 令和元年度第2次補正予算(案)について

藤本理事から資料1に基づき説明があり、審議の結果、了承した。

(主な質疑)

・学長裁量経費は、学長のリーダーシップで使用できる経費として、大学の自由度が働く仕組みとなっているのか。

→学長裁量経費は、文部科学省からの運営費交付金全体の5%以上設ける仕組みとなっており、本学では10%近くを学長裁量経費として設けているところ。毎年、文部科学省からの使用状況調査があり予算進捗管理がなされている。

・コンピュータレンタルシステムは減額となっているが、なぜ年度途中で減額となっているのか。

→減額ではなく財源変更を行ったため、このような記載となった。

・特許権経費が増額となっているが、成果に結びついているのか。

→本学における教員1人あたりの特許収入は、国立大学の中で上位ということで文部科学省からも評価を得ている。今後は、特許収入全体を黒字にもっていけるよう努力していきたい。

なお、授業料免除の実績や他の国立大学と比較した収益の状況を教えて欲しいとの意見があったため、後日、資料を送付することとなった。

2. 和歌山大学教職員給与規程等の改正（案）について
藤本理事から資料2に基づき説明があり、審議の結果、了承した。
(主な質疑)
・総人件費割合が75%とあるが、それが他の国立大学と比較して高いのか、低いのか。どう評価しているのか。
→国立大学において、医学部のある大学は、附属病院を有しているため、割合が低くなり、教育系の単科大学では、割合が高くなっているような状況である。本学の場合、同規模の国立大学と比較すると少し人件費割合が高くなっており、今後は外部資金の獲得など収入を増やすことで、人件費割合を抑える努力をしていきたいと考えている。
報 告
1. 平成30年度台風20号及び台風21号による被害について
藤本理事から、資料3に基づき説明があった。
2. 令和2年度国立大学法人運営費交付金の重点支援の評価結果（原案）について
学長から、資料4に基づき説明があった。
3. その他
・和歌山大学大学院経済学研究科改組計画について
マグレビ経済学部長及び阿部経済学部准教授から、資料5に基づき説明があった。
(主な意見)
・教える側の教員の意識改革も図りながら、新しい改組を進めていただきたい。
・優秀な人材を育成するには、相当幅広い知識やスキルが必要であり、経済学研究科を中心として全学的なリソースを活用した改組を行っていただきたい。
以 上